

平成30年度当初予算  
部局別要求方針

議会事務局

# 部局別予算要求方針

## 1 30年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて)

地方創生の時代を迎え、より政策的な行政運営と拡大する市民ニーズへの対応が求められる中、議会の役割である行政のチェック機能の充実や政策立案能力の強化がこれまで以上に重要となってきています。

本市議会においても、「議会基本条例」の規定に基づき、円滑な議会運営と活性化に引き続き取り組むとともに、市民にわかりやすい議会をさらに推進するべく、議会情報の発信に積極的に努めます。

また、平成30年に本市議会議員の改選がありますが、引き続き円滑な議会運営に努めます。

## 2 予算要求の重点事項(新年度の取組目標、新規施策等)

(優先すべき事業)

- ・ 議員改選時における円滑な議会運営
- ・ 積極的な情報公開
  - 本会議のライブ及び録画中継並びに委員会のライブ中継
  - 本会議及び委員会会議録のインターネット公開
  - 意見交換会の開催
  - ながはま市議会だよりの発行及び充実
  - ホームページを活用した議会情報の提供
- ・ 調査、政策立案能力の向上
  - 議会活性化の検討、推進
  - 議員研修会の実施、充実
  - 議会図書室の充実

(事業の必要性)

- ・ 市民の議会への理解と市政への参加を推進するため。
- ・ 市の重要課題や政策等に関し、活発な討論やより良い提案をするため。

## 3 事務事業の再構築(事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果)

円滑な議会運営を第一に、議会活性化を推進しつつ、事務事業の更なる見直しと効率化をすすめます。